

報道機関 各位

きゅうは と さきとうろうどう

## 旧波門崎燈籠堂の復元整備が完成しました (完成式開催のお知らせ)

旧波門崎燈籠堂につきまして、このたび復元整備が完成しましたことをお知らせいたします。

明石港の歴史を象徴する構造物として、また、海峡に面した明石の地域性を示すシンボルとして、貴重な文化財であります。周辺の観光案内板等の更新も行い、より多くの方々に観光や散策等で訪れ、歴史に触れていただけるようになりました。

つきましては、旧波門崎燈籠堂復元整備完成式を下記のとおり開催いたしますので、ご案内させていただきます。

### 記

- 1 日 時 令和4年10月18日(火)午後5時30分から午後6時まで(小雨決行)
- 2 場 所 明石市港町2番9地先(防潮ゲートの南側)
- 3 内 容 別紙、完成式次第(案)のとおり
- 4 添付資料 ・完成式次第(案)及び概要(旧波門崎燈籠堂)  
・案内図(位置図)
- 5 完成写真(北側から明石海峡を望む。右側はライトアップ、以降午後10時まで点灯。)



完成式次第(案)及び概要(旧波門崎燈籠堂)

きゅうは と さきとうろうどう

## 1 完成式次第(案)

- 1) 挨拶
- 2) ライトアップ(燈籠堂全体を照らします)
- 4) 記念撮影

## 2 概要(旧波門崎燈籠堂)

- (1) 名称 旧波門崎燈籠堂(きゅうはとさきとうろうどう)
- (2) 所在地 明石市港町2番9地先
- (3) 所有者 明石市
- (4) 時代 江戸時代
- (5) 形状 (石積部) 表面叩き仕上げの花崗岩を用い、隅角を算木積としながら層状に精微に積み上げ、北面に階段を取り付けた石積躯体。高さ 4.31m。  
(燈籠部) 木製の寄棟(方形)造り、屋根は銅板葺きで頂部は平面方形の宝珠にて復元。

## 3 歴史的な経緯(概略)

- 明暦 3年(1657年) 燈籠堂設置。
- 昭和 7年(1932年) 火袋の柱を木造からコンクリート製に改築。
- 昭和 26年(1951年) 明石市から国へ(海上保安部)へ移管。
- 昭和 38年(1963年) 沖合に新灯台が設置されたことにより、灯台としての機能廃止。
- 平成 11年(1999年) 国(海上保安部)から明石市へ譲渡。
- 平成 26年(2014年) 国登録有形文化財に登録。
- 令和 3年(2021年) 明石市指定有形文化財に指定。
- 令和 4年(2022年) 燈籠部を木製にて復元し、周辺整備も完成。

## 案内図(位置図)

旧波門崎燈籠堂(明石市港町2番9地先)

